



# たからざか



令和5年  
9月発行  
No.79

良質で高度な医療を提供し  
住民に愛される病院を目指します。

大牟田市宝坂町2丁目19番地1

TEL 0944-53-1061

HP <https://www.ghp.omuta.fukuoka.jp/>



## 薬剤部業務紹介



当院では、医療の質を高め安全を確保するために、多職種が協働して患者さんに関わるチーム医療を推進しています。薬剤師もチーム医療の一員として、様々な業務の中で専門性を発揮しています。

### 入院患者さんへ

病棟専任薬剤師を配置し、入院中に服用されている薬を調査して、効果・用法・用量・副作用・使用上の注意などの説明を実施しています。手術のある一部診療科では、入院される前に服用されている薬を確認して、サプリメントを含む休薬が必要なものを見落さず医師や関係スタッフへ情報提供しています。



高齢化に伴い多くの薬を服用する患者さんが増えてきており、「必要以上の薬を飲まれている」または「不必要な薬が処方されている」ことで害が起きたり、きちんと薬が飲めなくなることが昨今問題視されています。入院中に医師や関係スタッフと相談を行い、退院に向けて患者さん個々の薬の適正化を行っています。退院時の情報・変更内容は、薬剤管理サマリーというツールを用いて医療機関や保険薬局へ提供しています。

### 抗がん剤治療をする患者さんへ

当院は、南筑後地区の地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線療法と並んで抗がん剤による治療が盛んに行われています。薬剤師は、その安全性を高めるために、処方内容、用量や副作用などのチェックをはじめ、患者さんに適切な治療を受けていただけるように薬に関する様々な説明を行っています。



患者さんの薬物治療において、薬剤部スタッフ間でカンファレンスを行い、情報共有や意見交換しながら複数人で確認をしています。また学会や外部での勉強会に積極的に参加することで、安心安全な薬物治療を行えるように努力しています。

通院・入院中にお薬のことご相談ありましたら、お気軽に薬剤師へお声がけください

# 脂肪肝と肝がん

内科 部長 福森 一太

日本内科学会指導医  
日本消化器病学会指導医  
日本肝臓学会指導医



『脂肪肝』一度は耳にしたことのある言葉です。

特に、健診で肝機能異常を指摘されたあとの2次検診の結果、『脂肪肝による肝機能障害だった。。。』という経験がある方も多いはずです。

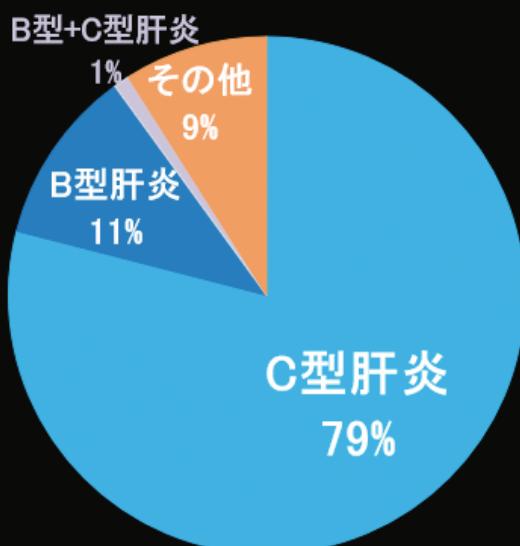
その脂肪肝の原因は、肥満だけではありません。やせ型体形の方でもアルコールの飲酒をされる方は脂肪肝になります。その他、メタボリックシンドローム、やせ過ぎ、薬剤、遺伝性代謝疾患や妊娠といった特殊な原因まで多岐にわたり、現代人には切っても切れない関係ばかりです。

つい20年前までは、『脂肪肝＝肥満』の象徴で笑い飛ばすようなものでしたけどね、脂肪肝って・・・

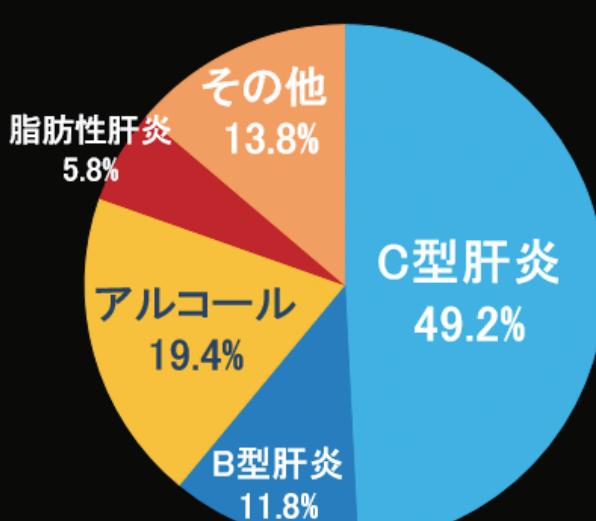
しかしここ20年の研究や調査で何と！脂肪肝が肝硬変の原因の1割を占めるまで今や病気として世界中で認識されるまでになりました。さらに現在は下の図のようにアルコールによる原因も急増しています。

## 【肝硬変症例】

### 肝硬変症例における原因の変化



1999年日本肝臓学会肝がん白書



2019年日本消化器病学会

その脂肪肝の治療は、いったい何か？というと、残念ながら現代において治療薬はありません。

普段の生活において脂肪肝の原因を取り除くことが第一歩で、その後は禁酒や節酒、過食を慎み食後の運動を毎日行うといった日常生活の改善方法以外に道はありません。人間が一番嫌いな地道な努力のみが唯一の治療で、これに勝る治療方法はありません。



しかしこれを怠り、人間の欲望のままに日々の日常生活を今までのように行えば知らず知らずのうちに、いつしか脂肪肝から脂肪性肝炎という病気に進行します。脂肪性肝炎に進行しても、肝機能障害以外に自覚症状は全くありませんし、さらに肝硬変までもっと進行しても全くといって自覚症状はありません。



さらに、肝硬変になればもう一つ注意すべき病気が出現してきます。

それが『肝がん』で肝臓内にがんができる、全く自覚症状はありません。

極端な話をすれば、肝臓全体が肝がんに置き換わったとしても、これまた全く自覚症状はありません。

これが肝臓の病気の恐ろしいところで、自覚症状が出現した時には既に末期状態まで進行し、『時既に遅し、成すすべなし』という状態になっていることが多く、これが肝臓自体が沈黙の臓器と言われる所以です。

上記の現状を踏まえると、『脂肪肝だけだから大丈夫』という安易な考えはもう古く、お持ちのスマートフォンのように最新の情報を常にアップデートする必要性があります。ご興味がある方は、以下をグーグル先生で検索をしてみて下さい。

- ①脂肪肝 (FL ; fatty liver)
  - ②非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD ; non-alcoholic fatty liver disease)
  - ③非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH ; non-alcoholic steato-hepatitis)
  - ④代謝性機能障害に伴う脂肪肝 (MAFLD ; metabolic dysfunction associated fatty liver disease)
- 検索してみると、怖いでしょ？？

ご自身で1年毎に人間ドックや市町村の検診を受診し、『自分自身をその他の病気から守っていく』ということを考える時代になってきました。

最低限必要な検査項目は、

- ①胸レントゲン ②心電図 ③腹部エコー検査
- ④胃検査 ⑤便検査ですが、必要に応じ
- ⑥婦人科検診 ⑦乳がん検診 ⑧前立腺がん検診
- ⑨脳ドックを追加すると、なお良いと考えます。

『脂肪肝！侮るなかれ！！』



# 出前講座のご案内

大牟田市の事業「市役所職員出前講座」で当院の職員が今年度実施した2つのメニューについてご紹介いたします。

## [リハビリテーション科] 気になりませんか？のみこみのこと

食事は日々の楽しみであるという人は多いと思います。そこで、からだの健康のためにはもちろんですが、こころの健康のためにも、「のみこみ」について知ることは大切です。

この講座では当院の言語聴覚士が、嚥下（えんげ）障害について原因から対策まで、図などで分かりやすく説明しています。また、自分の飲み込み具合を知ることができる実践型のテストや、嚥下体操で楽しく嚥下障害の対策について学ぶことができます。

### スクリーニングテスト

#### 自分の「のみこみ力」をテストしてみましょう

- ①指を軽く喉ほとけにあてる
- ②30秒間で何回唾液をのみこむことができるのかを数える  
※指が喉ほとけを乗り越えるごっくんができる、1回と数える

**30秒間で唾液を飲み込めた回数が3回未満の方は注意！**



講座では、のみこみやすい食品や、食品をのみこみやすくするポイント、嚥下体操など嚥下障害の対策についても教えています。



また、講座の最後には講師に質問ができる時間もありますので、「のみこみ」について気になる点がある方は、ぜひ受講してみてください。

当院では、職員がその専門性を活かした出前講座を実施しています。今回紹介した「気になりませんか？のみこみのこと」、「脱水症について」以外にも様々な講座がありますので、ぜひ大牟田市ホームページの「市役所職員出前講座」をご覧ください。

- URLから「市役所職員出前講座」をチェック!  
(<https://www.city.omuta.lg.jp/kiji0032883/index.html>)

## [看護部] 脱水症について

厳しい暑さが続くこの時期になると、心配なのが脱水症です。ニュースでも頻繁に耳にする症状ではありますが、皆さんは脱水症について正しい知識をご存じでしょうか。夏は良く冷えたビールが飲みたくなる季節ですが、アルコール飲料を飲むことは水分補給にはなりません。それどころか、飲めば飲むほど脱水状態になってしまうのです。皆さんも、普段気を付けているつもりでも、実は間違った水分補給をしていたことがあるかもしれません。

この講座では、当院の集中ケア認定看護師が、体内の水分量のことから脱水症の原因、症状、水分補給の仕方まで詳しく説明しています。

### 以下の症状があれば脱水症かもしません…

- |       |            |       |
|-------|------------|-------|
| ◇口の渴き | ◇身体のだるさ    | ◇意識障害 |
| ◇立ち眩み | ◇皮膚や唇の乾燥   |       |
| ◇舌の乾燥 | ◇皮膚の弾力性の低下 |       |
| ◇体温上昇 | ◇食欲低下      |       |
| ◇血圧低下 | ◇頻脈        |       |

脱水症について詳しく知りたい方は、ぜひ出前講座を受講してみてください。正しい知識を身に着け、暑さの厳しい夏を乗り切りましょう！



- QRコードから「市役所職員出前講座」をチェック!